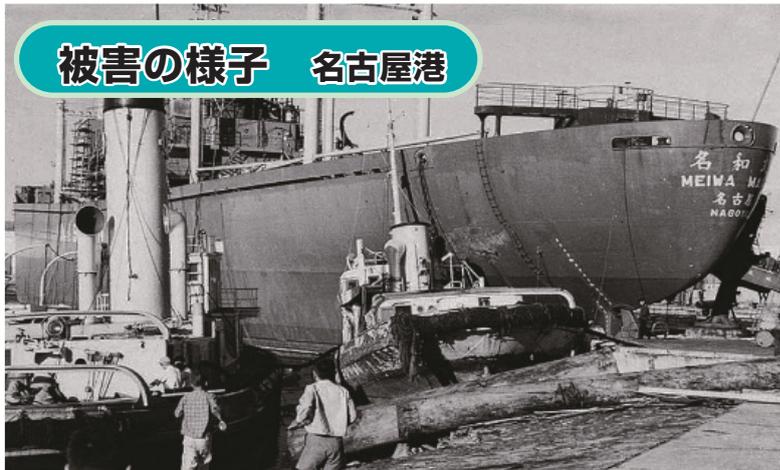


# くらしを守る名古屋港

## 港をおそう災害

### 伊勢湾台風

昭和34年（1959年）9月26日に上陸した伊勢湾台風によって、名古屋港では最高5.31mという高潮が発生しました。そのため、名古屋市港区や南区、海部郡蟹江町などで、堤防が切れ、海や川の水とともに木材などが町に流れこみました。愛知県では死者・行方不明者3,260名（全国5,098名）の大きな被害を受けました。



被害の様子 名古屋港

船が乗り上げてしまったんだね。どうやって被害を防げばいいのかな。



### 東北地方太平洋沖地しん（東日本大しん災）

平成23年（2011年）3月11日に三陸沖で起きた地しんにより、大変大きな津波が発生し、三陸えん岸にある仙台塩釜港などの港はまたたく間に津波に飲み込まれました。その被害は東北地方全体で死者約15,900名、行方不明者約2,500名にも及びました。



被害の様子 仙台塩釜港

海で大きな地しんが起きて津波が港をおそったんだね。

建物や設備が地しんでくずれたり、自動車も津波で流されたりしているね。

被害を少なくするための準備が必要だね。



問6

1959年に名古屋港をおそった台風をなんと言うでしょう。

ア

室戸台風

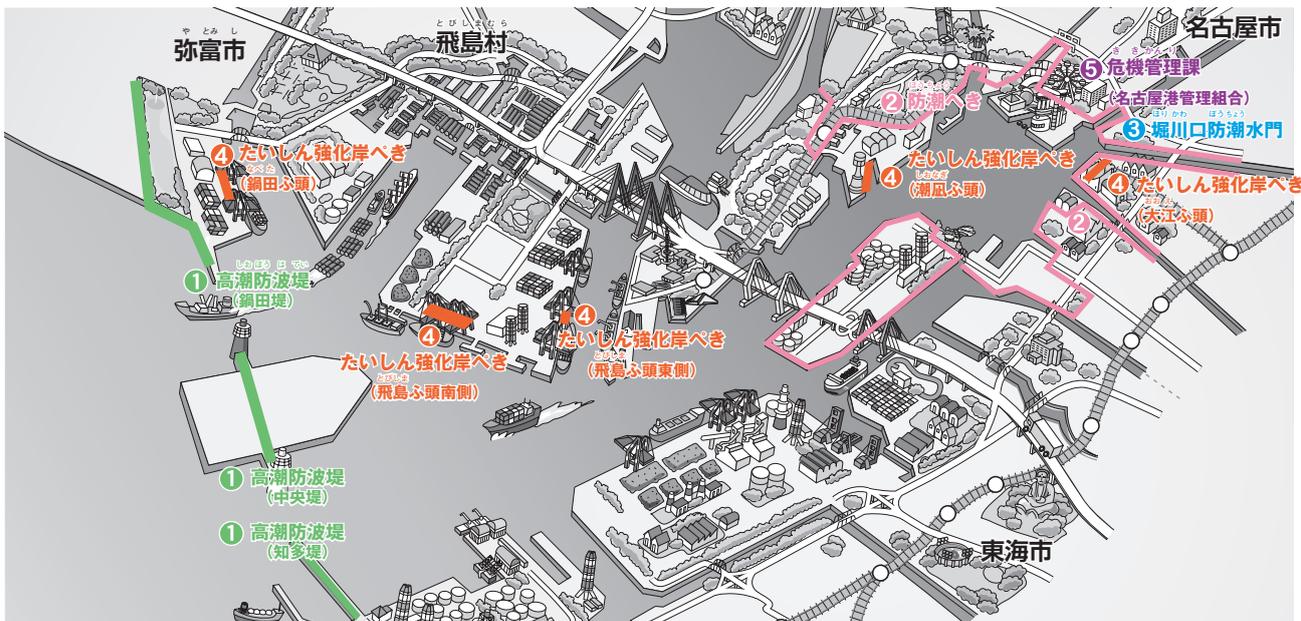
イ

枕崎台風

ウ

伊勢湾台風

# 名古屋港の防災施設



**① 高潮防波堤**  
しお ぼう ば てい

沖で、高潮と波ろうの勢いを弱めます。

**② 防潮へき・防潮とびら**

高潮や津波が市街地に流れこむことを防ぎます。

**③ 堀川口防潮水門**

高潮のときに水門を閉じて、海から堀川への流れをせき止めます。

**④ たいしん強化岸ぺき**

大きな地しんでもくずれないじょうぶな岸ぺきです。

**⑤ 危機管理課**

24時間体制で、すばやく災害に対応できるようにしています。

高潮や津波が発生したときは、「高潮防波堤」「防潮へき・防潮とびら」「防潮水門」などの施設が、みんなの生活を守ってくれるのだよ。  
日ごろからの訓練も大切なんだね。

**防災訓練**

地しんや台風などの災害に備えて、日ごろから訓練しています。



**問7**

災害を防ぐために、名古屋港にあるものは何でしょう。

- ア** 高潮防波堤
- イ** 名古屋港水族館
- ウ** 名古屋港ポートビル